

新補助金・地域への奉仕から世界平和に貢献するロータリアンの為に

- ロータリー財団の補助金制度が新しくなります。
手続きの簡素化により、地域ニーズに対する迅速対応が改善されます。
私達の奉仕の成果をもっと確実なものにする為の持続可能で大規模なプロジェクトの推進に力
を注ぎます。
- **新補助金制度** の下では、財団の補助金は2つのタイプに大別されます。
新地区補助金 と **グローバル補助金** の2つです。
- **新地区補助金** は、DDF の 50%までを地区の裁量で自由に活用出来るものです。
新地区補助金は、財団より地区に一括で支払われます。
地区が直接管理します。
使い方の例として、文化的な分野に関する奨学金や研究グループの派遣等、経済的に困っている学生への学費支援、職業訓練の支援、災害救援、海外のクラブとの協同事業、建物、施設の改築、その他人道的、教育的、社会的ないろいろな奉仕事業が挙げられます。
個別のプロジェクトに対しての補助額に上限も下限もございません。
- **グローバル補助金** は、財団の定める6種類の重点分野に関するプロジェクトに活用します。
6種類の重点分野とは、(1)平和と紛争予防／紛争解決 (2)疾病予防と治療 (3)母子の健康
(4)水と衛生設備 (5)基礎的教育と識字率向上 (6)経済と地域社会の発展 の6つです。
- **グローバル補助金** としては、3つ のパターンがあります。
- その一つ目は、“**クラブ&地区計画補助金**” です。
これは、DDF を資金の一部として、クラブや地区が6つの重点分野に関する独自のプロジェクトを立案、実施するものです。
プロジェクトが財団に承認されると、WFがマッチング (現金に対してはその1/2、DDFに対しては同額)されます。
多くの事業は、海外のクラブや地区との協同提唱プロジェクトとして財団へ申請することになります。
1プロジェクトに対する補助金(WF)の下限は、15,000ドルで上限は 200,000ドルです。
事業例としては、6つの重点分野を専攻する奨学金や研究グループ交換、建物や施設の建築・改築、その他6つの重点分野に関するいろいろな奉仕事業があります。

- 2つ目は、“パッケージ・グラント”と言うものです。

これは、ロータリー財団が立案し、協同組織と合同で、6つの重点分野に関する長期的で、大規模なプロジェクトを実施するものです。

WFと協同組織からの寄付が資金となります。

地区はDDFを寄贈して、スポンサーとなることも出来ます。

パッケージ・グラントにおける協同組織とは、おおよそ100万ドルレベル以上の資金を保有し、6つの重点分野に関する専門的な知識、技術を有する団体を想定しており、財団本部の事務レベルで選定します。
- 3つ目は、“世界平和フェローシッププログラム”です。

これは、WF、冠名基金、冠名寄付を財源として、紛争解決と平和に関する国際問題に付いて研究するための人材育成奨学金プログラムです。
- 私達のロータリー財団は、ロータリアンが、より効果的で確かな成果と長期的、持続性のある社会貢献が出来るよう2013－14年度から全世界で新補助金制度を実施しますが、それに先がけて、世界の100程度の地区をパイロット地区に選定し、2010－11年度から新補助金制度を試行します。
- 私達の第2650地区は、パイロット地区の申請をし、選定を受け、さっそく2010－11年度より、皆様が新補助金を活用し、地域のいろいろなニーズに迅速に対応出来、そして国際的ニーズに持続性をもって着実に応えていけるように致したいと考えております。
- 新補助金は、特に、地域で人を育てる為のプロジェクトに効果的に活用出来ると思います。

2009－10年度は、新補助金活用の計画年度となります。

有意義なプロジェクトを積極的に立案して下さい。